

ニュースレポート

令和7年7月17日

報道機関各位

文化財課 文化財係

タイトル 有年考古館企画展の開催について

下記のとおり報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

行事・事業名	有年考古館企画展「戦争―ある兵士の手紙から」を開催中です。
日時	令和7年10月13日（月）まで開催中
場所・住所	赤穂市立有年考古館（赤穂市有年檜原 1164-1）・一階展示室
趣旨・目的（PRしたいこと） このたび有年考古館では、企画展「戦争―ある兵士の手紙から」を開催しています。 令和7（2025）年は、終戦80周年となります。これにあわせ、有年考古館に寄贈された戦争関連資料のうち、赤穂市有年原出身の兵士が戦地から家族へあてた手紙を紹介する展示を開催中です。	
問い合わせ先	部課係名：教育委員会文化財課文化財係 担当者名：山中 電 話：0791-43-6962 内線（ 2326 ） F A X：0791-43-6895

○添付資料（有） ○ホームページへの掲載（無） ○議会報告（無）

有年考古館 企画展「戦争―ある兵士の手紙から」開催要項

1 展示名 企画展「戦争―ある兵士の手紙から」

2 会 期 令和7年7月16日（水）～令和7年10月13日（月）

3 趣 旨

令和7（2025）年は、終戦80周年となる。これにあわせ、有年考古館に寄贈された戦争関連資料のうち、有年村原（赤穂市有年原）出身の兵士が戦地から家族へあてた手紙を紹介する展示を行う。

紹介する資料は平成18（2006）年に、久保良道（くぼ・りょうどう）氏が『父と歩んだ六〇年―戦地からの便りに想う―』の題名で一冊の本にまとめられたもので、太平洋戦争中にビルマ（現ミャンマー）で戦病死された久保良一（くぼ・りょういち）氏から、有年原に住んでいた家族へ送られた手紙である。

手紙の内容は、当時の世相や人々の心情がつづられ、地域の人々が戦争にどのように巻き込まれ、どのようにとらえたのかについて知ることができる。

展示では終戦80年を機に、戦地から送られた手紙の内容を紹介し、改めて戦争と地域の関わりを紹介する。

4 入館料及び観覧料

無 料

5 会 場

赤穂市立有年考古館 1階展示室

6 展示資料

軍事郵便類 外 計30点

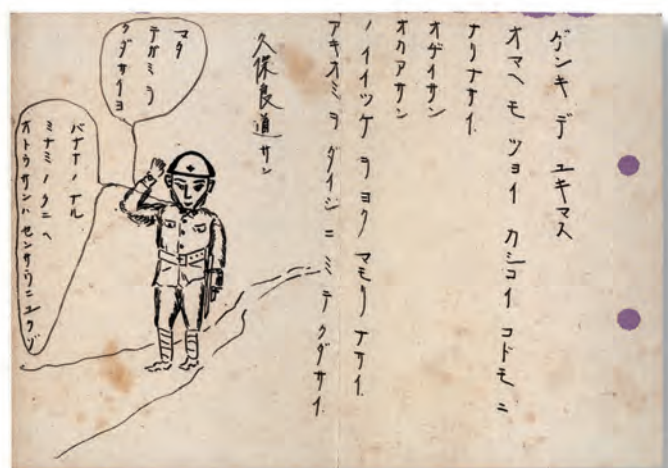
7 印刷物・広告等

広報あこう、ポスター、チラシ、インターネット、Webサイト「赤穂市立有年考古館」
(<http://www.ako-hyg.ed.jp/bunkazai/unekokokan/>)

令和7年度企画展

終戦80周年記念

戦争 ―ある兵士の手紙から



会期

2025年7月16日(水)～10月13日(月)

赤穂市立有年考古館

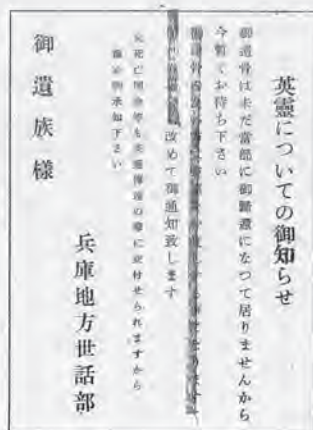
戦争 — ある兵士の手紙から

赤穂市立有年考古館では、市民からの寄贈を通じて、貴重な歴史資料の収集を行っています。

寄贈いただいた資料のなかには、第二次世界大戦・太平洋戦争のころの地域の様子を伝える資料も多く存在します。



有年村から出征した兵士から家族へ送られた軍事郵便



今回の展示では、当館所蔵資料のうち、一人の兵士が地元へ送った手紙に焦点をあてます。

当時の手紙からは、人々が「戦争」とどのように向き合い、どのように受け止めたのかを知ることができます。

終戦80周年となる年に、あらためて「戦争」と地域の人々の関係について、紹介いたします。

戦死通知



赤穂市立有年考古館

〒678-1181 兵庫県赤穂市有年権原1164番地1

TEL・FAX 0791-49-3488

入館無料

■休館日■ 火曜日 ※火曜日が祝日と重なる場合は次の平日
年末年始（12月28日～1月4日）

■開館時間■ 午前10時～午後4時（入館は午後3時30分まで）

■Webサイト■ 「赤穂市立有年考古館」で検索！